

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年4月18日

団体名 岡崎市ボランティア連絡協議会

代表者 鈴木 壽美

構成員 10人 （※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

ボランティア活動を推進する者が助け合い、活動の輪を広げ、福祉のまちづくりをめざして情報交換と連絡調整することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益※1を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員※2		
令和5年 5月13日	岡崎市社会 福祉センター	市民（講座参加者）	2	14	「災害を考えた」（防災1） 災害発生、あつたは身を 守る要かと題しての講座	災害が発生した後、自身が どのような状況に置かれ 何を思い、どう動くかを 考えることかできた。
令和5年 6月11日	岡崎市社会 福祉センター	市民（大会参加者）	1	8	「ポッチャ大会」 笑って競って気にならな	誰でも参加できる 競技で、交流をほかれた。
令和5年 7月16日	岡崎市社会 福祉センター	市民（講座参加者）	2	14	「知っている非常食、 ロープワークのあしこれ （防災2）」	アルファ米のアレンジのコツや ロープワークでは「もやい結び」 など、覚えておくといざという 時に役立つ事のできる講座ができた。
令和5年 8月30日	岡崎市社会 福祉センター	市民（講座参加者）	2	10	「整層体験」 「美と健康、いやしの ひとときにゴ招待」とした	整層を体験しはから リラックスした雰囲気 よいコミュニケーションの場と なった。
令和5年 9月16日	岡崎市社会 福祉センター	市民（講座参加者）	2	7	「トイレのこと、バリアでずか と題し、災害時トイレ 事情についての講座 （防災3）」	災害時のトイレの使い方を 体験し学んだ。

※1公益 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2会員 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

各団体が得意とする分野で、知識や技術などを提供できた。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年4月8日

団体名 岡崎市ボランティア連絡協議会

代表者 鈴木 壽美

構成員 10人 （※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

ボランティア活動を推進する者が助け合い、活動の輪を広げ、福祉のまらづくりをめざして情報交換と連絡調整することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場所	公益※1を受けるのは 誰(何)か	受益者数		活動内容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員※2		
令和5年 10月15日	岡崎市社会 福祉センター	市民(講座参加者)	1	6	"命を守る家の中の備" 講座 (防災4)	地震対策についての講座で 家具の固定など、クイズ形式で 加えてわかりやすく役立つ内容 とした。
令和5年 11月4日	岡崎市社会 福祉センター	市民(大会参加者)	3	12	"ボッチャ大会" チームで競って、ボッチャを 楽しむ	体を動かしながら、全話誌 はがみよいコミュニケーションの 場となった。
令和5年 11月19日	名古屋市港区 防災センター	市民(参加者)	6	28	災害の疑似体験や 防災教室での講話	防災への意識を高め、 学ぶことができた。
令和5年 12月16日	岡崎市社会 福祉センター	市民(講座参加者)	3	7	"とっておきの年賀状を 作りよう"	絵手紙を学びながら 自分仕立ての年賀状作りの 体験ができた。
令和6年 3月9日	岡崎市社会 福祉センター	市民(講座参加者)	2	8	"クロスロードゲーム" (防災6)	カードゲームで災害対応を体験し 防災につながる学習となった。

※1公益 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2会員 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

各団体が得意とする分野で、知識や技術などを提供できた。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。